

令和3年度第7回 感染症発生動向調査部会
議事要旨

1 日 時 令和3年10月20日(水) 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 小会議室(岐阜市柳戸1-1)

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志(岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長)
大西 秀典(岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授)
澤田 明(岐阜大学医学部附属病院 眼科 臨床准教授)
加藤 達雄(国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科統括診療部長)
石山 俊次(石山泌尿器科皮膚科)
オブザーバー: 小山 静代(岐阜市保健所 感染症対策課 感染症対策係長)
事務局 : 石塚 敏幸(感染症対策推進課 感染症対策第二係長)
山田 涼子(感染症対策推進課 技師)
今尾 幸穂(保健環境研究所 疫学情報部長)
岡 隆史(保健環境研究所 主任専門研究員)

4 議 題 (進行: 澤田委員)

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) その他(感染症対策推進課から)

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○STD 定点の変更について
(事務局から)

- ・東海三県の二次医療圏毎に、尖圭コンジローマの検査回数データとその患者報告数を比較した結果、1医療機関当たりの報告数としておよそ5～8人の地域が多いことがわかりました。今後診療科の変更などでSTD 定点の変更が必要となった際、新たな定点候補選定の目安として、このデータを活用していきたいと思います。

【その他(感染症対策推進課から)】

- ・最近のダニ媒介感染症の国内の発生状況について
- ・「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」の一部改正について(急性弛緩性麻痺)